

ソロモン諸島における有用植物，特に薬用植物資源の
インベントリー（1）.
マライタ島の伝統医が補完医学的に利用する薬用植物資源

渡邊高志^a, S. W. ゲール^a, 岡田 稔^a, P. トフ^b, F. ピティソパ^b, 小山鐵夫^a

^a 高知県立牧野植物園資源植物研究センター 781-8125 高知県高知市五台山 4200-6

^b ソロモン諸島森林省ガダルカナル州国立ホニアラ植物園・標本室

Plant Inventory in the Solomon Islands, with Special Reference to Medicinal Plant
Resources (1). Medicinal Plant Resources Used in Complementary Medicine by
Custom Doctors on Malaita Island

Takashi WATANABE^a, Stephan William GALE^a, Minoru OKADA^a,
Patterson TOFU^b, Fred PITISOPA^b and Tetsuo KOYAMA^a

^aResearch Center for Plant Resources, The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden,
4200-6, Godaisan, Kochi, 781-8125 JAPAN;

E-mail: watanabet@makino.or.jp

^bMinistry of Forestry, National Herbarium and Botanical Garden Division,
P. O. Box 624, Honiara, Guadalcanal Province, SOLOMON ISLANDS

(Received on September 2, 2009)

Estimated to comprise over 4,500 species of vascular plants, the flora of the Solomon Islands is one of the richest of the South Pacific region. Given the geography and geologic history of the archipelago, the rate of plant species endemism is likely to be high. Despite its diversity and economic potential, however, the flora remains uncatalogued and applied knowledge of its economic value is scant. The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden (MBK) has been conducting plant inventory research in the Solomon Islands since 2007, based on a memorandum of agreement (MoA) signed between the Ministry of Forestry of the Solomon Islands and MBK. The aims of the MoA are to facilitate the production of a full plant inventory of the Solomon Islands' flora, and to assess the potential of certain species for development as an economic resource. In the present study, traditional custom doctors, villagers and land owners on Malaita Island were interviewed in a survey of the use of medicinal plants in complementary medicine. Fifty plant species were confirmed as being in regular use. A preliminary checklist to the 163 species cited in the interviews is presented, and detailed descriptions, including vernacular names and uses, of 28 particularly noteworthy species are given.

Key words: Custom doctor, inventory, Malaita Island, medicinal plant, Solomon Islands.

I. 緒論

ソロモン諸島（以下、「ソロモン」とする）は、豊富な熱帯雨林に恵まれ、生物は種類が豊富であり特に植物についてはソロモン固有種が多く生育している（Henderson and Hancock 1988）。本研究では、伝統医 *custom doctor*（以下、「*custom doctor*」とする）により利用されている植物、その関連種、漢方薬素材の代替になると考えられる植物を明らかにするために植物資源を探査・収集し、それらの植物の正確な植物分類学的な同定と天然物化学的分析用試料に供する有用植物、特に薬用植物資源のインベントリー調査を実施した。

未だソロモンでは現地調査を基にして残された薬用植物に関する基礎情報や *custom doctor* らの知識を知的財産として記録する研究はなされていない。それらの貴重な植物情報や民間知識（知的財産）が地球上から失われることがないように、我々はしっかり後世に残したいと考えている。我々が得た情報はソロモン全体の一部の情報ではあるが、ソロモンに残された薬用植物を正しく利用し、貴重な植物資源を守るための一助としたい。

そこで筆者らは、先ずソロモンの中で最も人口が多く疾病率も高いマライタ島（Statistics Office 1991）において、住民の疾病に詳しい *custom doctor* から問診・舌診・切診などの治療行為後に補完医学的処方として利用する植物について、さらに村人が日常使用する民間薬について、新たな知見を得るため聞き取り調査を実施した。

II. インベントリー調査

1. 経緯

本研究は、ソロモン森林省（以下、FD という）との国際共同計画として遂行された。2006年にソロモン政府から林業次官が来日し、2007年6月12日にソロモンにおいて高知県立牧野植物園（MBK）とFDの間で薬用植物資源に関する共同研究覚書 MoA を締結した。2007年9月に「ソロモンでの経済植物による地域開発セミナー会議とワークショップ」を開催した。そして、FDのビバ次官の案内で他職員4名が加わり共同調査隊を結成し、マライタ島西・東南岸森林地帯（未開原生林）での薬用植物資源探査を実施した。それに先立ち2006年に研究分担者である小山が米国ハワイ自然科学局のビショップ博物館標本室（BISH）に赴き、約50万点のソロモンの標本の中から、ソロモンの隣国であるフィジー諸島の植物

相（Smith 1979–1996）と比較検討し、民間薬用植物の記述のある標本を抽出した。そして約150種の収集候補薬用植物のリストアップを行った。

2. 調査地域

ソロモンは、ガダルカナル島（首都：ホニアラ Honiara）、マライタ島、ニュージョージア群島、チョイスル島、サンタイサベル島、レネル島、サンクリストバル島、サンタクルズ島など大きく分けて8島（9州）、さらに小島を加えると数百に及ぶ島を有する多民族・多言語国家である。土地の総面積は 28,000 km²、人口約 25 万（Statistics office 1991）で現在も増え続けている。西端はパプアニューギニアと接し、東～南にはツバル、バヌアツそしてフィジーなどの国と接するため、気候はメラネシアやポリネシアと類似している。従って、有用植物に関する文化もメラネシアとポリネシア両面の要素を兼ね備えていると予測できる（Ogo et al. 1987）。また、標高 1,000 m 前後の山岳地帯、淡水湖（レネル島）、そして火山を有する地形の豊かな国であることから、有用植物に関して植物分類・地理学的観点からも大変興味もたれる。

本調査地のマライタ州は、ソロモン中部の州でマライタ島を中心に南マライタ島（マラマシケ島）とシカイアナ島によって構成されており、行政府所在地はマライタ島アウキ Auki である。マライタ島は、土地面積 4,225 km² で、北西から南東へ長さ 165 km、そして幅 37 km であり、南緯 8°15' から 9°45'、東経 160°30' から 161°35' の範囲に位置する（Fig. 1）。島の中央にはコロブラット Kolovrat 山（1,303 m）を最高峰とする標高 1,000 m 級の山脈が走っている。

3. 島内調査にかかわる諸事情

1) 薬用植物資源に関する研究状況

首都ホニアラがあるガダルカナル島には、共同研究者の所属研究機関である森林省国立ホニアラ植物園があり、園内には標本館がある。ここでは、英国キュー植物園の研究者や他の植物分類専門家らにより長年に渡り標本管理システムが構築され、教育研究機関として植物分類学的研究が行われていた。しかし、マライタ島からの移住者の増加により 2003 年に土地の領有をめぐる部族間の武力対立が起こった際、ホニアラ植物園内の標本館は暴動により半焼し、現在も研究機関としての

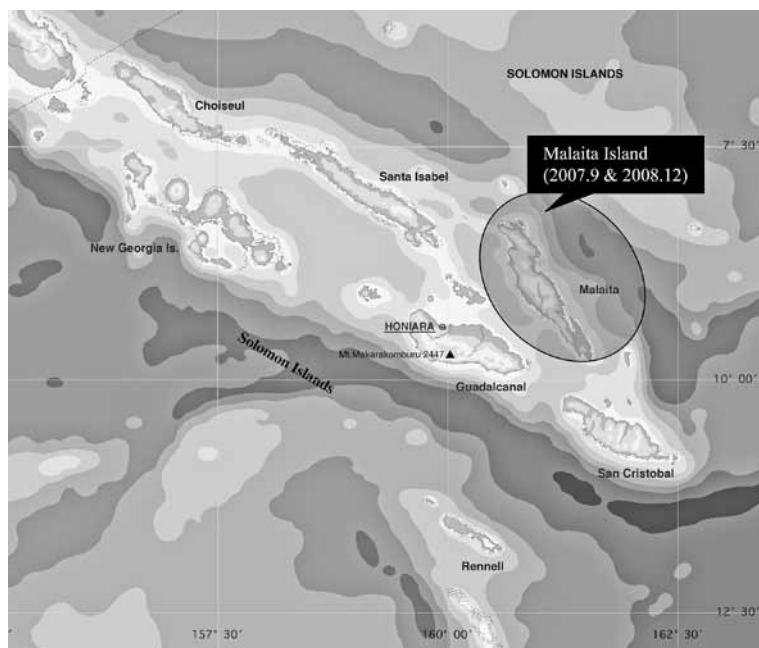


Fig. 1. Map of the Solomon Islands. Malaita Island is shaded (Atras Study 2009).

役目を失っている。その後、近年まで植物調査隊をソロモン政府が受け入れたことは無く、薬用植物資源に関する研究報告も殆どされていない。

2) 医療事情

首都のホニアラやマライタ島商業都市には西洋医学を用いた病院が多いが、奥地森林地帯では小さなクリニックしかなく医師が常駐していない。ソロモン全体に言えることであるが、近年マライタ島でも外国資本による急速な森林の伐採が行われている。こうした森林破壊による問題は、住民の暮らしに変化を及ぼすとともに、*custom doctor*らが世襲的に利用してきた補完医学的素材とされる薬用植物や村人が使っている民間薬などの情報が森林の消失と共に今後急速に失われていくことが危惧され、有用植物の速やかな探査の必要性が叫ばれるようになってきた。

今回調査したマライタ島は人口122,620人(Statistics office 1991)、ガダルカナル島の約2倍の人口密度でソロモン国内では一番多く人々が住んでいる(宮内1998)。マライタ島内住民一人当たりの医師の数も不足しており、特に殺虫薬耐性蚊の出現で副作用の問題が解決されないままクロロキンなどに頼っており、副作用の少ないマラリア有効薬が必要とされている。また、西洋医学で

は即効性を求める患者に抗生物質など高価な薬剤が汎用されがちだが、現地ではこのような高価な薬を買うことのできないという現状もある。こうした背景により、マライタ島では*custom doctor*が利用する補完医薬や民間薬などが、島の人々の健康を守るために多く利用されている。ソロモンのおおよそ中央北に位置するマライタ島は先に述べたように人口密度が高く、各民族により*custom doctor*が用いる植物の種類に違いがあり未知の薬用植物も多数見つかるのではないかと期待できる。

4. 調査方法

我々は、医学・薬学分野において補完医学的に利用される薬用植物資源の探索のためソロモン諸島マライタ島において、特に1) 現地の*custom doctor*が利用する薬用植物とその民間療法に関する調査、及び2) 代替生薬資源(漢方薬原料代替植物)の発掘のため、2007年9月にマライタ島西・東南部に於いて1回目の薬用植物資源のインベントリー調査(第1次派遣期間:2007年9月6日~9月12日)を開始した。そして、調査結果の精度を上げるため2008年12月にマライタ島西部を再度訪問した(第2次派遣期間:2008年12月

19日～2009年02月08日). 有用植物資源を発掘し企業との共同研究へ展開することを目的として既に文献検索などにより有用性が期待できそうな植物, そして先の第1次調査で custom doctor が利用していることが明らかになった薬用植物を中心に, インベントリー調査を行った. 両調査で蒐集した植物標本は, 現地 FD に1スペア標本 (voucher specimen) として保管し, 生薬標本とさく葉標本 (証拠標本) を MBK で保存管理している. BISH でのさく葉標本の同定が進み学名が解明され次第, 研究分担者, 研究協力者らへ試料を送付することとした. さらに本調査によって明らかになった custom doctor が汎用する薬用植物について, ガダルカナル島西部のタカボル Takaboru 村で2007年から実施してきた基礎調査との比較検討を行った.

5. 結果および考察

ソロモンには4,500種を超える植物が知られており (Henderson and Hancock 1988), 当初薬用植物の分布も多いことが予想された. 予備調査の段階では未研究種が大半であったため, BISH でのソロモン植物目録 (索引) Index Genera に基づき民間薬用に関する記述のある120種, そして現地調査出発前に SciFinder (医薬学文献データベース) による文献検索結果から, 主に新薬創出・代替生薬の発掘のため, カギカズラ属 *Uncaria* (Figs. 2A, B) 生薬, 「釣藤鈎」やゴシュユ属 *Tetradium* (Fig. 3) 生薬, 「呉茱萸」(厚生労働省2006) 類縁品など代替生薬資源としての可能性ある「種」に重点を置き, マライタ島での植物インベントリー調査を実施し, 次の結果を得た.

第1次派遣調査の結果, マライタ島では熱帯雨林内に生育する有用植物として *Alpinia*, *Amoora* (Fig. 4), *Donax* (Fig. 5), *Ficus*, *Leea* (Fig. 6), *Morinda* (Fig. 7), *Pueraria*, *Sophora*, *Tetradium*, *Uncaria*, *Uvaria* (Fig. 8) など薬用としての可能性ある種類を収集し, 乾燥植物試料の調整と同時にその証拠となるさく葉標本の作製を行なった. 現在, 収集した乾燥植物試料に対する生物活性は測定中である.

第2次派遣調査の結果, 現地母語クワラエ語 Kwaraae's Language (Michael and Ben 2001) による薬用植物リスト 'List of Vernacular Name (Kwaraae's) for Medicinal Plants of Solomon Islands' (Appendix) を完成させ補完医学素材として163種

の薬用植物を見出した. その基礎資料を元に今回マライタ島の custom doctor らが治療に用いる頻度の高い薬用植物28種 (Table 1) を明らかにし, さらに比較調査としてガダルカナル島タカボル村の custom doctor が用いる種名が未同定の植物を含む20種 (Table 2) を明らかにした. これらの生薬については駆虫・乾燥・秤量などの作業を終え各生薬標本の導入番号を記録した. また, データベースで記録管理している未同定の基原植物については, 今後他の生薬サンプルとの形態比較や解剖などから鑑定を進める予定である.

1) マライタ島の伝統医が補完医学的に利用している薬用植物

次に, マライタ島にて補完医学的に利用されている薬用植物資源の中で注目すべき植物に関して, それらの民間療法について詳述する.

① カギカズラの仲間 *Uncaria appendiculata* Benth. (アカネ科) [現地名: 不明] (Fig. 2A, B)

ソロモン産カギカズラ属 *Uncaria* については, 生薬「釣藤鈎」の代替原料植物, または医薬品資源としての可能性に着目し, 調査を行った.

ソロモンでは, 現地名を知る custom doctor にまだ巡り会っていないが, つる性の太い茎の部分を単独または他の植物と併せて利用している. 強壯剤, 抗マラリア作用, 利尿作用もあるようで腎臓疾患に用いられている. また, 現地調査の際に作製したさく葉標本の産地から推察すると, 森林伐採の無い環境豊かな奥地の村, または外部からの干渉を受けていない無人島などですでに数種が見つかっており, 同じような自然環境を調査地に選ぶことで同属の種が多数見つかる可能性がある.

日本薬局方の「釣藤鈎」の規定によれば, その基原植物をアカネ科の *Uncaria rhynchophylla* Miq., *U. sinensis* Oliver または *U. macrophylla* Wall. とし, その棘の部分を乾燥させ, 生薬「釣藤鈎」としている (厚生労働省2006). この生薬の乾燥物中には, 8つ程のアルカロイドが含まれることが知られている. 近年の研究で, 特にリンコフィリン rhynchophylline には学習記憶改善作用 (認知機能改善作用. 脳血管性痴呆患者の精神症状を改善), そしてヒルスチン hirsutine については血圧降下作用などそれぞれ異なった作用が知られている (御影ら2008). そこで, マライタ島のカギカズラ属 *Uncaria* の総アルカロイド (リンコフィリ



Fig. 2. *Uncaria appendiculata* Benth. (Rubiaceae). A. Habit sprawling over a steep bank along the Kwaifala River in West Kwaio, Malaita Island (voucher: T. Watanabe & al. SIMB 063, MBK). B. Close up of an inflorescence. Scale bar = 5 cm.

ン及びヒルスチン)の含量についてTLCによる予試験を行った結果、マライタ島で採種した *U. acida* Roxb., *U. appendiculata* Benth., *U. lanosa* Wall. については、主なアルカロイドのスポットは確認できなかった。この3種を含め、他に採集した *U. bernaysii* F. Muell., *U. ferrea* (Blume) DC., *U. glabrata* DC., *U. glabrescens* Merr. & L. M. Perry などについても化学分析を行い、それらの総アルカロイド量と成分組成について検討し、ソロモンのカギガズラ属 *Uncaria* について産地の分布状況も含め今後解明する予定である。ソロモンで比較的広域に分布し、かつ個体数が多い種については新たな代替原料植物として、また成分組成に関しては、例えばリンコフィリンの含量の多い種を特定し、医薬品資源に結びつけたいと考えている。

② *Tetradium hortensis* J. R. Forst. & G. Forst. (ミカン科) [現地クワラエ語名: Fo'oka, Lae'e] (Fig. 3)

本種については、生薬「呉茱萸」の類縁品など、代替生薬資源としての可能性があるのかという点に着目し、調査を行った。本種は、常緑の小・中木で、枝上部先端の腋芽は露出する。マライタ島で採集した同属の *Tetradium anisodora* (現地クワラエ語名: Chachanbo / Rik or Ri'i) に良く似るが、*Tetradium anisodora* の葉が細長い形とは対照的に、楕円形で大きい。ソロモン西州やマライタ島では、本種の葉を煮だした煎液を打撲部分に塗るか、煎液をしみ込ませた布を患部に貼付けるなど消炎作用がある。またソロモンの住人は、嗜好品としてヤシ科のベテルナツツ(ビンロウジ

Areca cathechu)を常用するが、その理由としてベテルナツツにはアルカロイドが含まれ肥満予防を期待して利用される。本当に食物の量を減らし肥満予防効果があるかどうかは個人差もあり定かではないが、コショウ科のキンマと石灰を混ぜて口に含み、咀嚼して外に赤い液をはきだす習慣がある。そのベテルナツツと本種の樹皮の粉を混ぜて、今度は口に含んだ液を体の炎症部分に塗りマッサージをすることで痛みを和らげるという民間療法もある。ところで、第十五改正日本薬局方の「呉茱萸」の規定では、その基原植物をミカン科の *Evodia rutaecarpa* Benth., *E. officinalis* Dode または *E. bodinieri* Dode とし、その果実を呉茱萸(ゴシュユ)といい乾燥した生薬には特異なおいがあり、味は辛く、後に残留性の苦味があるとしている(厚生労働省 2006)。本生薬は鎮痛作用、循環器系に対する作用、強心作用、子宮収縮作用などの各薬理作用を有し、冷え性、神経痛、リウマチ、婦人病に適応される。主に、呉茱萸湯、温経湯、当帰四逆加呉茱萸生姜湯などの漢方方剤に使われる。マライタ島で採集した本属2種についての鎮痛や炎症作用に関して、文献調査によると未だ医薬学的な研究がなされていないことから、生薬「呉茱萸」の基原植物の問題も含めて今後の研究に興味を持たれる。

なお、ゴシュユについては、Hartley (1981) が *Tetradium* に組み替えた学名 *Tetradium ruticarpum* (Juss.) T. G. Hartley (synonym: *Euodia ruticarpa* (Juss.) Benth.) を発表している。本論文での属の取扱いは Hartley (1981) の見解に従った。

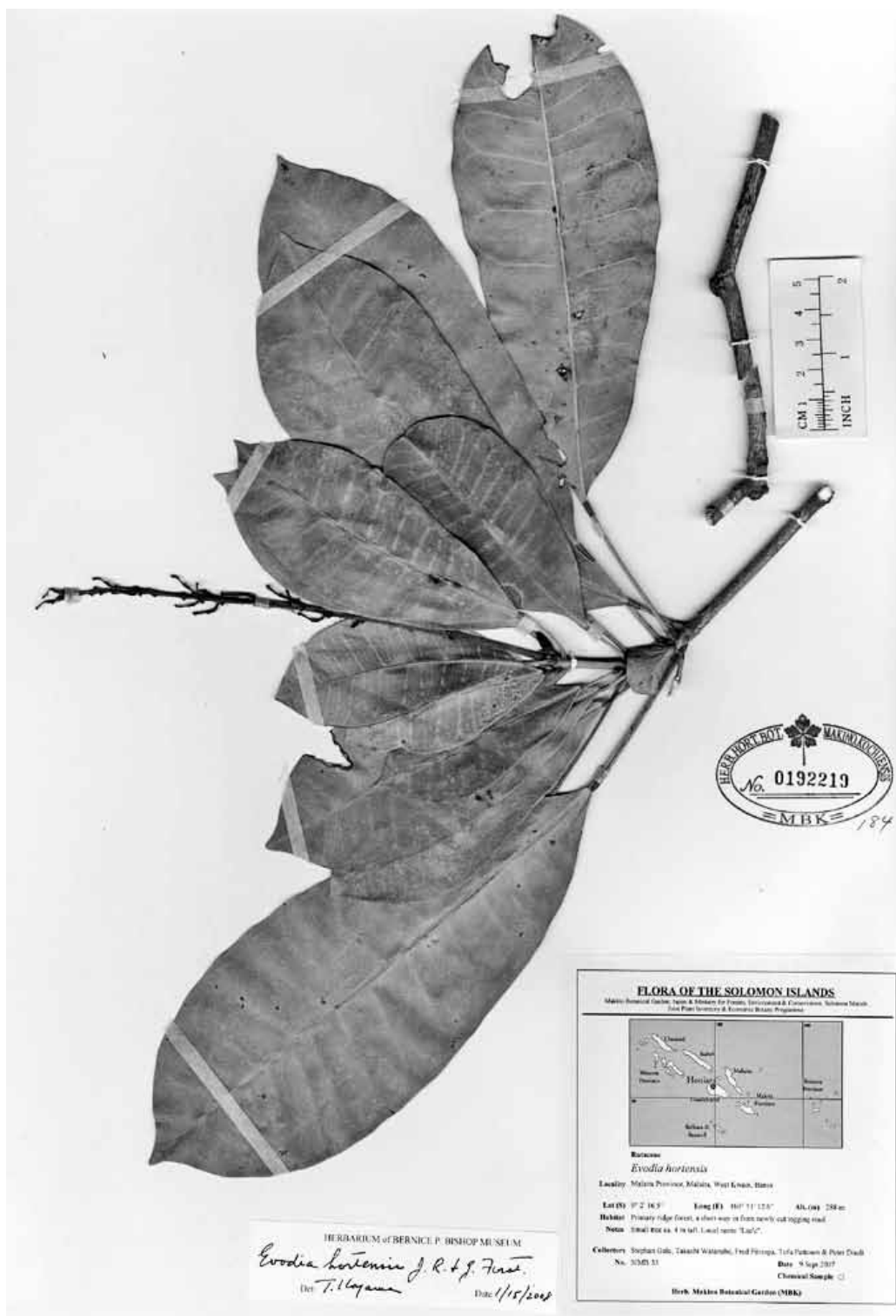


Fig. 3. *Tetradium hortensis* J. R. Forst. & G. Forst. (T. Watanabe & al. 0192219, MBK) collected from east Malaita.

Table 1. List of medicinal plants used by a custom doctor (Mr. Henry W. Malelo, 58 years old) of Buma Village, Malaita Island. Fresh juice of young leaves and shoots of plants assigned with * are used for medicinal purposes. Interview date: 25 December, 2008.

Family	Scientific name	Vernacular name (language in parentheses)	Medicinal use	Plant habit
<i>Amaranthaceae</i>	not yet identified	Abememo (Kwaraae)	fresh juice of young leaves used as cure for gonorrhoea and in tonics	creeping herb
<i>Anacardiaceae</i>	<i>Spondias cytherea</i> Sonn.	“Aioo (Kwaraae), Uli”	fruit eaten raw by women to ease discomfort and ailments during pregnancy	tree
<i>Annonaceae</i>	<i>Uvaria macrophylla</i> Roxb	-	applied externally to treat gonorrhoea and other sexually transmitted diseases	tree
<i>Apocynaceae</i>	<i>Alstonia scholaris</i> (L.) R.Br.	“Aitonga (Kwaraae), Suala, Taba’a”	“inner bark soaked in water to produce tincture drunk to treat syphilis, tuberculosis and gonorrhoea”	tree
<i>Apocynaceae</i>	<i>Alstonia spectabilis</i> R.Br.	“Papami (Kwaraae), Siil?u”	“as for <i>A. scholaris</i> , but more bitter-tasting”	tree
<i>Apocynaceae</i>	<i>Cerbera manghas</i> L.	Aisfae (Kwaraae)	whole plant used to treat cancer	tree
<i>Asteraceae</i>	<i>Mikania cordata</i> (Burm. f.) B.L. Robinson	“Kalialo, Koaloufi (others)*, Luluzu (Roviana)”	sap used as a coagulant to treat cuts; also used to treat diarrhoea and open sores	creeping herb
<i>Caricaceae</i>	<i>Carica papaya</i> L.	Pawoaw (Kwaraae)*	used to treat malaria and to protect against malarial symptoms	tree
<i>Clusiaceae</i>	<i>Calophyllum inophyllum</i> L.	“Dalo (Kwaraae), Koilo”	used to treat malaria	tree
<i>Combretaceae</i>	<i>Terminalia catappa</i> L.	“Alita (Kwaraae), Lega, Lenga”	used to ease child birth	shrub
<i>Lecythidaceae</i>	<i>Barringtonia edulis</i> Seem.	“Aikenu (Kwaraae), Fala”	used to treat coughs and to neutralise stomach acidity	tree
<i>Leeaceae</i>	<i>Leea</i> sp. (<i>Leea indica</i> *)	Borabora (*)	fresh juice of leaves or new leaves lightly roasted and applied externally to treat aches and pains	shrub
<i>Leguminosae</i>	<i>Inocarpus fagiferus</i> (Park.) Fosb.	Allali (Kwaraae)	liquid tincture derived from the bark used to cure colds	tree
<i>Leguminosae</i>	<i>Intsia bijuga</i> (Colebr.) Kuntze	“Laimalao (Kwaraae), U’ula (local names used on Malaita Island)”	fresh juice of young shoots or powdered bark used to treat open wounds	tree
<i>Leguminosae</i>	<i>Samanea</i> sp.	Sweet colly	“whole plant used to treat cancer, particularly breast and lung cancer”	tree
<i>Malvaceae</i>	<i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L.	Tetali (Kwaraae)*	used to ease child birth	shrub
<i>Malvaceae</i>	<i>Hibiscus tiliaceus</i> L.	Madafu (Kwaraae)	“used to treat diabetes, high blood pressure, heart disease and kidney problems”	shrub
<i>Marantaceae</i>	<i>Donax canniformis</i> (Forst. f.) Schum.	Nini (Kwaraae)	roots used to treat fever; fresh juice of young shoots and stem rubbed into skin as antiphlogistic to treat sores	herb
<i>Meliaceae</i>	<i>Amoora salomonensis</i> C. DC.	Hainabulu (Kwaraae)	used to treat coughs and neutralise stomach acidity	tree
<i>Moraceae</i>	<i>Artocarpus altilis</i> (Parkinson) Fosberg	“Baleo (Kwaraae) and Rauai, Kekene (others)”	liquid tincture derived from the bark used cure sores and treat broken bones	tree
<i>Moraceae</i>	<i>Ficus copiosa</i> Steud.	“Agalu, Amau (Kwaraae) and Salwari (others)*”	used to treat fungal infections of the eye (as local villagers believe that it looks like eye deformations)	tree
<i>Myrtaceae</i>	<i>Psidium guajava</i> L.	Guava*	“used as cure for skin diseases, and to treat childhood coughs”	tree
<i>Poaceae</i>	“ <i>Phragmites vallatoria</i> (L.) Veldkamp [= <i>Phragmites kerka</i> (Retz.) Trin. ex Steud.]”	“Fi’i (Kwaraae) and Rande, Fi’i Rade”	fresh juice of young shoots used as cure for the childhood coughs	herb
<i>Rubiaceae</i>	<i>Morinda citrifolia</i> L.	“Dilo, Noni (others)”	oil of seeds and decoction of stems or leaves used as treatment for diabetes	tree
<i>Rubiaceae</i>	<i>Timonius timon</i> (Spreng.) Merr.	“Sakosia, Kato (others)”	fresh juice of young shoots used cure to treat coughs and asthma.	tree
<i>Rutaceae</i>	<i>Tetradium anisodora</i> K. Schum. & Lauterb.	“Chachanbo, Rii (local names used on Malaita Island), Riki”	liquid tincture derived from the bark is used to treat sores and broken bones	tree
<i>Rutaceae</i>	<i>Tetradium hortensis</i> J. R. Forst. & G. Forst.	“Aba’i, Fo’oka (Kwaraae), Lae’e, Ri’i”	liquid tincture derived from leaves applied externally to treat sores and bruises	tree
<i>Solanaceae</i>	<i>Nicotiana tabacum</i> L.	“Bailla, Firi (Kwaraae)”	young leaves applied to skin diseases and insect bites	herb

Table 2. List of medicinal plants used by a custom doctor (Mr. Masimiano Lovana, 52 years old) of Takaboru Village, Guadalcanal Island. Remarks: Other plants referred to by the custom doctor, but as yet unidentified in the present study, include *Gatsoga* (Kwaraae), the young leaves of which are applied to the skin to treat skin diseases and ease the pain of insect bites; *Kara'a* (Kwaraae), which is used to treat skin diseases and to protect children from colds; *Tiroko* or *Takafo* (Kwaraae), which is used to treat malaria; *Pitsubina* or *Pityubina* (Kwaraae), which is used to treat cancer; *Tole* (Kwaraae), which is used to treat cancer of the throat and lungs; and *Uliatsii*, *Suala* or *Aitonga* (Kwaraae), the inner bark of which is soaked in water and drunk as a treatment for syphilis, tuberculosis and gonorrhoea. Interview date: 21 and 27 January, 5 February, 2009.

Family	Scientific name	Vernacular name (language in parentheses)	Medicinal use	Plant habit
<i>Anacardiaceae</i>	<i>Spondias cytherea</i> Sonn.	“Aioo, <i>Uli</i> (Kwaraae), Uliuli (local names used on Malaita Island)”	fruit eaten raw by women to ease discomfort and ailments during pregnancy	tree
<i>Apocynaceae</i>	<i>Alstonia scholaris</i> (L.) R.Br.	“ <i>Aitonga</i> (Kwaraae), Sabbaha, Suala, Taba'a”	“inner bark soaked in water and drunk as treatment for syphilis, TB and gonorrhoea”	tree
<i>Apocynaceae</i>	<i>Alstonia spectabilis</i> R.Br.	Papami (Kwaraae)	“as for <i>A. scholaris</i> , but more bitter-tasting”	tree
<i>Araliaceae</i>	<i>Polyscias</i> sp.	Ghende (Kwaraae)	“used to treat diarrhoea, open wounds, urinal diseases and sores”	tree
<i>Clusiaceae</i>	<i>Calophyllum</i> <i>inophyllum</i> L.	“ <i>Dalo</i> (Kwaraae), Koilo”	used to treat malaria	tree
<i>Combretaceae</i>	<i>Terminalia catappa</i> L.	“ <i>Alita</i> (Kwaraae), Lega, Lenga”	used to ease child birth	shrub
<i>Convolvulaceae</i>	<i>Ipomoea</i> sp.	Tumimi (Ghari)	fresh juice of young leaves used to treat coughs	creeper
<i>Convolvulaceae</i>	<i>Merremia peltata</i> (L.) Merr.	Chige (Ghari)	“fresh bark cut to fine powder and decocted for 20–25 min., filtered liquid then used to treat diarrhoea and pneumonia”	creeper
<i>Euphorbiaceae</i>	<i>Acalypha</i> sp.	Habusi (Kwaraae)	“young fruits boiled up, or shoots soaked in water to produce lotion used to treat open wounds, broken bones, and skin diseases such as swellings and sores”	tree
<i>Euphorbiaceae</i>	obscure (fruits greenish-red)	Kanalikoba (Kwaraae)	fresh juice of young shoots used to treat asthmatic symptoms and coughs	shrub
<i>Goodeniaceae</i>	<i>Scaevola taccada</i> (Gaertn.) Roxb.	Gogovu (Kwaraae)	fresh juice of young shoots or powdered bark used to treat open wounds	tree
<i>Hernandiaceae</i>	<i>Hernandia</i> sp.	Bilibili (Kwaraae)	fresh juice of young shoots or powdered bark used to treat open wounds	shrub
<i>Leguminosae</i>	<i>Archidendron</i> <i>oblongum</i> (Hemsl.) de Wit	Lamloki (Kwaraae)	used to treat stomach aches (species endemic to Solomon Islands)	tree
<i>Leguminosae</i>	<i>Intsia bijuga</i> (Colebr.) Kuntze	“ <i>Laimalao</i> (Kwaraae), U'ula”	fresh juice of young shoots or powdered bark used to treat open wounds	tree
<i>Meliaceae</i>	<i>Amoora</i> <i>salomoniensis</i> C. DC.	“ <i>Hainabulu</i> (Kwaraae), Aimokta'a, <i>Viska</i> (Babatana)”	used to treat coughs and neutralise stomach acid	tree
<i>Moraceae</i>	<i>Ficus benjamina</i> L.	Tabao (Kwaraae)	“fresh bark cut to fine powder and decocted for 20–25 min., filtered liquid then used to treat diabetes, high blood pressure, heart disease and kidney problems”	tree
<i>Rutaceae</i>	<i>Tetradium anisodora</i> K. Schum. & Lauterb.	“Chachanbo, Rii (local names used on Malaita Island), Riki”	liquid tincture derived from the bark used to treat sores and broken bones	tree
<i>Sterculiaceae</i>	<i>Kleinhovia hospita</i> L.	Matanga (Kwaraae)	fresh juice of young shoots used to treat asthmatic symptoms and coughs (taken before meals)	tree
<i>Urticaceae</i>	<i>Pipturus argenteus</i> (G. Forst.) Wedd.	Domae (Kwaraae)	“fresh juice of shoots used to treat childhood coughs, and fresh juice of young stem used to aid digestion; sap from main stem promotes sleep”	shrub
<i>Verbenaceae</i>	<i>Vitex coffesis</i> Steud.	Vasa (Kwaraae)	used to treat fungal infections of the eye (as local villagers believe that it looks like eye deformations)	tree

③ *Amoora salomoniensis* C. DC. (センダン科) [現地クワラエ語名: Ai lade] (Fig. 4)

本種は、広葉樹で高さ 10 m 以上の高木である。ガダルカナル島ではババタナ語 Babatana language で Aimokta'a または Viska と呼び、custom doctor は若い葉や新芽の絞り汁、または樹皮の表面を少し削り落としナイフでさらに削り出した粉状の内皮の水抽出液を咳止めや胃酸分泌過多による胃炎の治療に用いている。また、パプアニューギニアではパシフィックメープルと呼ばれ、建築材、床材、家具の引き出し、合板などに加工し輸出されている (Robert 1992)。同属には抗酸化成分 (Shimizu et al. 2002) の報告があるものの、木材以外としての有効利用が検討されないまま外国資本による材木輸出企業により伐採されている。他の種も含め森林破壊がマライタの奥地の森林地帯にまで及んでいる。しかし、ソロモンでは島内のランドオーナー制度が根強く、森林省は指導を強化するものの森林保護のための大きな動きには至っていない。本種の他にマライタでは *Amoora cucullata* Roxb. が観察されており、同様に木材として利用されている。

④ *Donax canniformis* (Forst. f.) Schum. (クズウコン科) [現地クワラエ語名: Nini] (Fig. 5)

本種を中国名で竹葉芭蕉と言ひ、その名の通り葉は竹の様で、株立ちはバショウのように叢生状である。また、本種を含め *Donax* 属は、世界に 3 種のみが分布する珍しい植物の一つである。高さは 2m 前後で、花は円錐花序に咲き白色である。果実は、初期の段階ではビロード状の青い外果皮で覆われているが、熟すとその皮が剥がれ白くなる。本種はどこも川沿いの水の停滞しない湿地帯に群生していた。custom doctor は患者の症状に応じて本種の根を解熱や咳止めに、新芽・茎の絞り汁を患部に擦り込み消炎薬として用いている。また、茎の皮は水に腐りにくく、野菜を運ぶバスケットや家の屋根として椰子の葉を編み込む際に本種の茎の皮を用いている。従って、クラフト植物として重宝にされているため野生は少なく、本種を栽培する村人も多い。

⑤ *Leea* sp. (ウドノキ科) [現地ニグワネ語名: Borabora = *Leea indica*] (Fig. 6)

本種は、林縁や川岸の湿地帯に生える双子葉植



Fig. 4. *Amoora salomoniensis* C. DC. (Meliaceae), a large tree with a spreading crown, growing near the coastal road towards Faurara in West Kwaio, Malaita Island (voucher: T. Watanabe & al. SIMB 050, MBK). The leaves of this species are grilled over a fire and applied to the forehead to treat fever. The local name is *Ai lade*. Scale bar = 5 cm.

物で、熱帯地域に 70 種ほどが分布している。葉は羽状複葉でウドに似ているが、かつてはブドウ科 *Vitaceae* にされていた事もあり果実はブドウの房のように成り、熟すと黒くなる。しかし、つる性ではなく通常 6 m 以下の低木で、茎には髓が発達する。マライタ島では 2 次林の林床や海岸近くの風通しの良い常緑林に生える。ソロモン国内ガダルカナル島、西部チョイスル島、ニューギニア島で *Leea brunoniana* C. B. Clarke 及び *L. indica* (Burm. f.) Merr. の 2 種を観察しており、ソロモンのほぼ全域に分布している。マライタ島では、若芽や多肉性の果実を食用にしており、体の毒素を出すために民間的に利用している。また、生の葉を潰した汁または新葉を少し火であぶったものを体の腫れている部分に貼る事で痛みを和ら



Fig. 5. *Donax caniniformis* (Forst. f.) Schum. (*Marantaceae*) growing beside a forest road near Banio Village, West Kwaio, Malaita Island (voucher: T. Watanabe & al. SIMB 035, MBK). Scale bar = 5 cm.

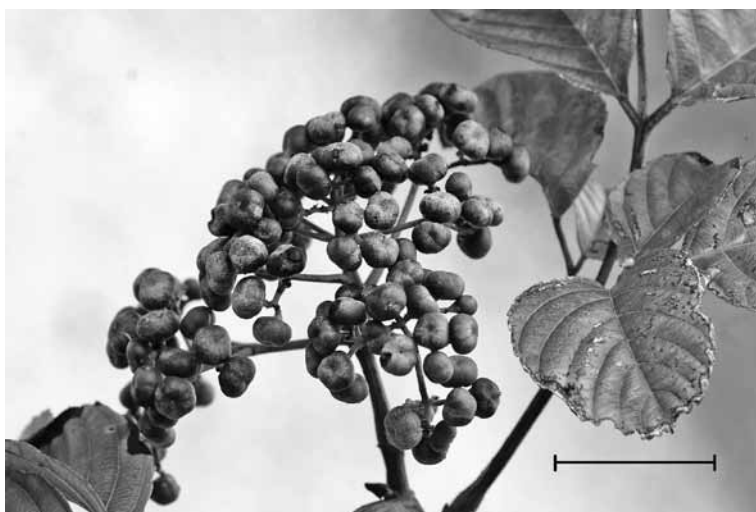


Fig. 6. Fruits of *Leea* sp. (*Leeaceae*), growing at the margin of degraded secondary forest, near the coast of Malaita Island. Scale bar = 5 cm.

げる消炎効果がある。

⑥ *Morinda citrifolia* L. (アカネ科) [現地ピジン語名: Dilo] (Fig. 7)

世界的にも知られている健康飲料「ノニ」の原料植物であり、日本でも果実の絞り汁を加工した健康飲料「ノニ」が人気を集めている。ソロモンでは近年、1つの企業が、この果汁を加工濃縮し

て海外に輸出している。FDの職員からの情報では、ソロモン国外では「ノニ」の名が知れ渡っているものの、国内では余り知られていない。マライタ島での調査では、ガダルカナル島に自生する「ノニ」より一回り大きい実を成らす個体が生育していることを西クワイオ郡のクワイファラ川で確認している。その場で証拠標本作製し、マライタ島の数人の custom doctor に使用の有無を確



Fig. 7. *Morinda citrifolia* L. (*Rubiaceae*), growing along the Kwaifala River in West Kwaio, Malaita Island (voucher: T. Watanabe & al. SIMB062, MBK). Scale bar = 10 cm.



Fig. 8. *Uvaria macrophylla* Roxb. (*Annonaceae*) collected in secondary forest along the logging road close to the Kwaifala River, West Kwaio, Malaita Island (voucher: T. Watanabe & al. SIMB065, MBK). Scale bar = 5 cm.

認するために持参したところ、若い葉や新芽、そして茎の表面をナイフ等で削り落とし内皮を熱湯で数分抽出した液を糖尿病に用いることがわかった。また、種子油は皮膚病に用いる。マライタ島

の住民はガダルカナル島の「ノニ」との果実の大きさに関する具体的な比較をしていないようである。

⑦ *Uvaria macrophylla* Roxb. (バンレイシ科) [現地名：不明] (Fig. 8)

本属は、一般に常緑のつる性植物または枝が外に広がる低木で、熱帯地域に150種ほどが分布する。ソロモンに分布する本種は、高さ20mにおよぶ高木で道路脇に生育する。花は白色で、ラフレシア属のように独特な臭いを放ち、ハエが花によくとまる。民間薬として淋病や性感染症に外用薬として用いられている。custom doctorの話によると地上部全体に有毒な成分が含まれ、必要量以上に服用すると嘔吐、消化不良による腹痛を伴うが、適量を使えばお腹にガスが溜まる症状に効く。

2) 現地での民間療法の特徴

マライタ島の custom doctor が補完医学的に利用する薬用植物とその民間療法に関する調査結果、及び代替生薬資源について述べたが、クワラエ語で書かれた本 (Michael and Ben 2001) には、例えばソロモンの薬用植物が利尿、解毒 (虫さされ、蛇咬)、マラリア、性病などの疾患に共通して用いられている記載がある。しかし、custom doctor との間取り調査や住民へのインタビューによる結果を統合してみると、幾つかのソロモン関係の本 (例えば、A Guide to the Useful Plants of Solomon Islands) に書かれていた内容とは一致しない。即ち、マライタ島では薬用植物各々には違った症状に対応した民間の利用があり、さらに custom doctor も数種の薬用植物を従来の文献にみられないような方法で混合処方しており、多様な疾病に応用している。

3) ソロモン各島々との比較

ソロモン諸島マライタ島での調査結果から、現地 custom doctor が利用する薬用植物について、アジア諸国で盛んに利用されている伝統薬と比較すると、*Ficus* と *Alstonia* は属レベルでは共通しているものの、それ以外の植物については属レベルですら全く異なっている。また、マライタ島で伝統薬として利用される薬用植物28種 (Table 1) の中で7種がガダルカナル島の伝統薬 (Table 2) と共通しているが、マメ科やアオイ科、そしてアカネ科など13種以上が共通していなかった。この結果は、マライタ島の custom doctor が用いる薬用植物には地域特異性が高いことを示唆している。しかし、このことがソロモン全体にも言えることかどうかは、他の近隣の島々との比較調査に

よって解明する必要がある。

今後は1,000近い大小様々な島を有するソロモンのなかでも人口密度の高い島として、主にガダルカナル島、ニュージョジア島、チョイスル島、サントイザベル島を優先し、それらの島で著明な custom doctor との間込み調査と彼らが使用する薬用植物の証拠標本をもとに民間療法に関する新知見を構築する予定である。即ち本研究で明らかになったソロモン産薬用植物28種の基礎情報を基に、さらに薬用植物に関する新たな伝承情報を記録し、「牧野天然薬物資源データベース」を完成させる。また、未知の植物が予想されているため、化学的文献調査と現地での植物インベントリ結果とを組み合わせる事で補完医学的に利用する薬用植物に関する興味深い結果も期待できる。

本研究を行うにあたりソロモン森林省 (FD) のジバ次官、FD ガダルカナル州国立ホニアラ植物園・標本室の研究担当職員にご協力頂いた。本研究は、科学研究費補助金基盤研究 (A) 「ソロモン諸島における有用植物、特に薬用植物資源の探査と天然物化学的研究」の研究費の一部によって実施された。

引用文献

- Atras Study 2009. Ver. 2.60 © 1988–2009.
 Hartley T. G. 1981. A revision of the genus *Tetradium* (*Rutaceae*). Gard. Bull. Sing. **31**: 91–131.
 Henderson C. P. and Hancock I. R. 1988. A Guide to the Useful Plants of Solomon Islands. 481 pp. Research Department, Ministry of Agriculture and Lands, Honiara.
 厚生労働省 2006. 第十五改正日本薬局方生薬総則. 111 pp. 株式会社じほう, 東京.
 Malaita Province Development Profile 2001. Ministry of Provincial Government and Rural Development, Honiara, Solomon islands. pp. 15–28.
 Michael K. and Ben B. 2001. Our Forest of Kwara'ae: Our Life in Solomon Islands and the Things Growing in Our Home. 268 pp. British Museum Press, London.
 御影雅幸, 遠藤寛子, 香月茂樹, 垣内信子 2008. 漢薬「釣藤鈎」の薬用部位に関する史的考察 (第2報). 日東医誌 **59**(2): 279–285.
 宮内泰介 1998. 重層的な環境利用と共同利用権 —ソロモン諸島マライタ島の事例から—. 環境社会学研究 **4**: 125–141.
 Ogo T., Inomata N. and Yamamoto Y. 1987. Plant species used in Papua New Guinea and Solomon Islands. Japan. J. Trop. Agr. **31**(1): 16–27.

Robert H. 1992. Plants of New Guinea and the Solomon Islands. Dictionary of the Genera and Families of Flowering Plants and Ferns. Lae Ecology Institute Handbook No.13. Rev. Bot. Bull. **3**: 1–164.

Shimizu K., Kondo R. and Sakai K. 2002. Antioxidant activity of heartwood extracts of Papua New Guinean woods. J. Wood Sci. **48**(5): 446–450.

Smith A. C. 1979–1996. Flora Vitiensis Nova. A New Flora of Fiji, Vols. 1–5. Tropical Botanical Garden, Lawai, Kawai.

Statistics Office 1991. Cencus, Ministry of Agriculture and Lands, Government of the Solomon Islands. 278 pp. Statistical Yearbook, Honiara.

Appendix. Some vernacular names of medicinal plants in Solomon Islands. Note: the names in bold show the plants which Mr. Henry W. Malelo as a custom doctor has used in Malaita Island.

Family	Scientific name	Kwaraae, Vernacular name, others	Plant habit
<i>Acanthaceae</i>	<i>Hemigraphis reptans</i> (G. Forst.) T. Anderson ex Hemsl.	Ba'ekorara	herb
<i>Acanthaceae</i>	<i>Pseuderanthemum</i> ssp. (2 ssp.)	Ofenga Ai	tree
<i>Acanthaceae</i>	<i>Pseuderanthemum whartonianum</i> Hemsl.	Ofenga Ai/Rongronglua	shrub
<i>Anacardiaceae</i>	<i>Mangifera minor</i> Blume	Asai	tree
<i>Anacardiaceae</i>	<i>Mangifera mucronulata</i> Blume	Mala Asai	middle height tree
<i>Anacardiaceae</i>	<i>Spondias cytherea</i> Sonn.	Aioo/Uli	tree
<i>Annonaceae</i>	<i>Canangium odoratum</i> King	Sa'o Sa'o	small height tree
<i>Apocynaceae</i>	<i>Alstonia scholaris</i> (L.) R. Br.	Aitonga/Suala/Taba'a	large(tall) tree
<i>Apocynaceae</i>	<i>Alstonia spectabilis</i> R. Br.	Papami/Siiliu	tree
<i>Apocynaceae</i>	<i>Anodendron paniculatum</i> A.DC.	Ambe/Fa'I Ambe	climber
<i>Apocynaceae</i>	<i>Cerbera floribunda</i> K.Schum.	Totongwale	tree
<i>Apocynaceae</i>	<i>Pagiantha koroana</i> Markgr.	Malarokona./Tabana	tree
<i>Araceae</i>	<i>Alocasia macrorrhiza</i> Schott	Fila Ngwa'e Ngwa'e	herb
<i>Araceae</i>	<i>Alocasia</i> sp.	Fila Kwasi	herb
<i>Araliaceae</i>	<i>Osmoxylon novo-guineense</i> Becc.	Gwalifunu/Ngwalifunu Ngwane	tree
<i>Araliaceae</i>	<i>Polyscias scutellaria</i> (Burm.f.) Fosb.	Bebero/Berobero	tree
<i>Araliaceae</i>	<i>Schefflera babalia</i> Philipson	Bula Ngwane/Bula Sigoria	Timber locally used
<i>Asclepiadaceae</i>	<i>Hoya dodecatheiflora</i> Fosberg	Sa'e Ngali	herb/climber
<i>Aspleniaceae</i>	<i>Asplenium nidus</i> L.	Tataleoleo	fern
<i>Asteraceae</i>	<i>Ageratum conyzoides</i> L.	Belohanua	herb
<i>Asteraceae</i>	<i>Blumea lacera</i> (Burn.f.) DC. var. <i>subdivaricata</i> DC.	Safau	herb
<i>Asteraceae</i>	<i>Blumea riparia</i> (Blume) DC.	Lau	herb/shrub
<i>Asteraceae</i>	<i>Erechtites valerianaefolia</i> DC.	Asaka Mockta'a	herb
<i>Asteraceae</i>	<i>Mikania cordata</i> (Burm. f.) B. L. Robinson	Kalialo/Koaloufi/Luluzu/Ngingilo	herb/climber
<i>Asteraceae</i>	<i>Mikania micrantha</i> Kunth	Kalialo/Kwalo Kauburu	herb/climber
<i>Asteraceae</i>	<i>Wedelia biflora</i> (L.) DC.	Kokoi/Toitoi	herb
<i>Asteraceae</i>	<i>Wedelia rechingiana</i> Muschler	Kwakwalu Bebe	herb
<i>Begoniaceae</i>	<i>Begonia somervillei</i> Hemsl.	Memo II	herb
<i>Boraginaceae</i>	<i>Messersmidia argentea</i> (L.) I.M. Johnston	Aibebe	tree/shrub
<i>Burseraceae</i>	<i>Canarium indicum</i> L.	Ngali	tree
<i>Capparaceae</i>	<i>Crateva religiosa</i> G. Forst.	Ai Abu	middle height tree
<i>Caricaceae</i>	<i>Carica papaya</i> L.	Pawoaw/Takafo	tree
<i>Casuarinaceae</i>	<i>Casuarina equisetifolia</i> L.	Salu	tree
<i>Chrysobalanaceae</i>	<i>Parinari glaberrima</i> Hassk.	Saia	tree

Family	Scientific name	Kwaraae, Vernacular name, others	Plant habit
Combretaceae	<i>Terminalia catappa</i> L.	Alita/Alite/Lega/Lenga	middle height tree
Convolvulaceae	<i>Ipomoea illustris</i> (Clarke) Prain	Abui/Kwalo Tabui	Creeper/climber
Convolvulaceae	<i>Ipomoea learii</i> Paxton	Oli	Creeper/climber
Convolvulaceae	<i>Ipomoea pes-caprae</i> (L.) R. Br.	A'afola/Afo Afola	Creeper/climber
Costaceae	<i>Costus</i> sp.	Gwagwango/Gwango Asi	herb
Costaceae	<i>Costus speciosus</i> Sm.	Okaoka/Wakawaka	shrub
Cucurbitaceae	<i>Cucurbita</i> sp.	—	Creeper
Cucurbitaceae	<i>Melothria</i> sp.	Kola	Creeper
Cucurbitaceae	<i>Zehneria mucronata</i> (Blume) Miq.	Ria	climber
Cyatheaceae	<i>Cyathea whitmorei</i> Baker	Gurako/Kwa' e Ako	fern
Cycadaceae	<i>Cycas rumphii</i> Miq.	Baibai	tree
Dennstaedtiaceae	<i>Hypolepis tenuifolia</i> (G. Forst.) Bernh.	Saulu	fern
Dioscoreaceae	<i>Dioscorea bulbifera</i> L. (a wild variety)	Dau Kwasi	herb/climber
Dracaenaceae	<i>Dracaena angustifolia</i> Roxb.	Mamaladili	tree
Elaeocarpaceae	<i>Elaeocarpus floridanus</i> Hemsl.	Ai Enda	tree
Euphorbiaceae	<i>Acalypha grandis</i> Benth.	Alabusi	tree/shrub
Euphorbiaceae	<i>Bischofia javanica</i> Blume	Oli Oli	tree
Euphorbiaceae	<i>Cleidion spiciflorum</i> Merrill	Saola	tree
Euphorbiaceae	<i>Endospermum fomicarum</i> Becc	Ai Aofia	tree
Euphorbiaceae	<i>Euphorbia hirta</i> L.	Memeo I	herb
Euphorbiaceae	<i>Excoecaria agallocha</i> L.	Asissiu	tree
Euphorbiaceae	<i>Glochidion</i> aff. <i>ramiflorum</i> J. R. Forst. & G. Forest.	O'a	tree
Euphorbiaceae	<i>Macaranga aleuritoides</i> F. Muell.	Finofino/Tanga Fino	tree
Euphorbiaceae	<i>Macaranga faiketo</i> Whitmore	Keto	tree
Euphorbiaceae	<i>Macaranga tanarius</i> (L.) Muell. Arg.	Rebareba/Takasui	tree
Euphorbiaceae	<i>Macaranga whitmorei</i> Airy Shaw	Biulaa/Kokowa'e	tree
Euphorbiaceae	<i>Mallotus ricinoides</i> (Pers.) Muell. Arg.	Airafu/Suamango Kwao	tree
Euphorbiaceae	<i>Omphalea queenslandiae</i> F. M. Bailey	Falake	climber/tree
Euphorbiaceae	<i>Pimelodendron amboinicum</i> Hassk.	Aisubu	tree
Euphorbiaceae	<i>Securinega flexuosa</i> Muell. Arg.	Mamufu'a	tree
Euphorbiaceae	<i>Endospermum</i> sp.	Salu Malefo	climber
Flacourtiaceae	<i>Pangium edule</i> Reinw.	Falake/Ra	tree
Gnetaceae	<i>Gnetum costatum</i> K. Schum.	Dae/Kwasi	tree
Gnetaceae	<i>Gnetum gnemon</i> L.	Dae Fasia/Dae Malefo	tree
Goodeniaceae	<i>Scaevola taccada</i> (Gaertn.) Roxb.	Kokobe	shrub/tree
Hernaceae	<i>Hernandia peltata</i> Meisn.	Bilubilu Asi	tree
Icacinaceae	<i>Merrilliodendron megacarpum</i> (Hemsl.) Sleumer	Ai Ibo/Aiembu	tree
Lamiaceae	<i>Clerodendrum buchananii</i> (Roxb.) W. G. Walpers	Kakafae Meo/Kinilio	small height tree
Lamiaceae	<i>Coleus scutellarioides</i> (L.) Benth.	Asaka	herb
Lamiaceae	<i>Gmelina lepidota</i> Scheff.	Maladala	tree
Lamiaceae	<i>Ocimum sanctum</i> L.	Gisobala	shrub
Lamiaceae	<i>Premna corymbosa</i> Merr.	Kwa'u	small height tree
Lamiaceae	<i>Vitex cofassus</i> Reinw. ex Blume	Aiulu'ulu/Fata/Fatanaki	large(tall) tree
Lamiaceae	<i>Vitex trifolia</i> L.	Malamala Alako I	tree
Lecythidaceae	<i>Barringtonia edulis</i> Seem.	Aikenu/Fala	tree
Lecythidaceae	<i>Barringtonia novae-hiberniae</i> Lauterbach	Aikenu/Fala	tree
Lecythidaceae	<i>Barringtonia racemosa</i> Hort. ex Miq.	Falanganda/Futu	tree
Leeaceae	<i>Leea indica</i> (Burm. f.) Merr.	Borabora (Ngwane)	tree
Leguminosae	<i>Derris heterophylla</i> Backer ex K. Heyne	A' ata	climber
Leguminosae	<i>Desmodium umbellatum</i> (L.) DC.	Aida'afi/Aigegere/Aisato	shrub/tree
Leguminosae	<i>Erythrina variegata</i> L.	Rara II	middle height tree

Family	Scientific name	Kwaraae, Vernacular name, others	Plant habit
Leguminosae	<i>Pongamia pinnata</i> (L.) Pierre	Ai Uka Ria	tree
Leguminosae	<i>Pterocarpus indicus</i> Willd.	Liki	middle height tree/ large tree
Leguminosae	<i>Pueraria pulcherrima</i> Merr. ex Koord.-Schum.	Fa'i Sa'a/Sa'a	herb/climber
Leguminosae	<i>Sophora tomentosa</i> L.	Malamala Alako II	shrub/tree
Leguminosae (Caesalpiniaceae)	<i>Cassia alata</i> L.	Bakua	shrub/tree
Leguminosae (Caesalpiniaceae)	<i>Intsia bijuga</i> Kuntze	Laimalao/U'ula	tree
Leguminosae (Fabaceae)	<i>Canavalia cathartica</i> Thouars	—	climber
Lomariopsidaceae	<i>Bolbitis naumanni</i> (Kuhn) Ching in C. Chr.	Uru'uru Oko	fern
Lycopodiaceae	<i>Lycopodium squarrosum</i> G. Forst.	Lumu Lumu	Epiphyte/fern
Lycopodiaceae	<i>Lycopodium squarrosum</i> G. Forst.	Lumu Kwao	Epiphyte/fern
Lycopodiaceae	<i>Lycopodium cernuum</i> L.	Gnorangnora / Kutakuta	shrub
Lythraceae	<i>Sonneratia alba</i> Sm.	Bubula	tree
Malvaceae	<i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L.	Tetali	shrub
Malvaceae	<i>Hibiscus tiliaceus</i> L.	Fa'alo/Fakasu/Fa'ola/Madafu	tree
Malvaceae	<i>Urena lobata</i> L. subsp. <i>sinuata</i> (L.) Borss. Waalk.	Mamafuoli	herb
Marantaceae	<i>Donax canniformis</i> (Forst. f.) Schum.	Nini	herb
Melastomaceae	<i>Medinilla luraluensis</i> Merr. & L. M.Perry	Suba	herb/shrub
Meliaceae	<i>Amoora cucullata</i> Roxb.	Maoa	tree
Mimosaceae	<i>Adenantha pavonina</i> L.	Tatarebebe	tree
Moraceae	<i>Artocarpus vriesiana</i> Miq.	U'ufi	tree
Moraceae	<i>Ficus adenosperma</i> Miq.	Alangia	tree
Moraceae	<i>Ficus</i> aff. <i>salomonensis</i> Rechinger	Raurauketa	tree
Moraceae	<i>Ficus benjamina</i> L. var. <i>nuda</i> (Miq) Braith	Baolangaragara	tree
Moraceae	<i>Ficus edelfeltii</i> ssp. <i>bougainvillei</i> King	Malifu	tree
Moraceae	<i>Ficus septica</i> Burm. f.	Angalu	tree
Moraceae	<i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume	Sirifena	tree
Musaceae	<i>Musa</i> sp.	Ba'u	herb/tree
Myrsinaceae	<i>Maesa edulis</i> C. T. White	Aidala	shrub
Myrtaceae	<i>Eugenia malaccensis</i> L.	Afio/Kabirai/Sa'au	tree
Myrtaceae	<i>Eugenia nutans</i> K. Schum.	Aifau	tree
Oleandraceae	<i>Nephrolepis biserrata</i> (Sw.) Schott	Katakata	fern
Oleandraceae	<i>Nephrolepis hirsutula</i> (Forst.) C. Presl	Katakata	fern
Oleandraceae	<i>Nephrolepis saligna</i> Carr. in Seem.	Garagara/Usu Usu	fern
Onagraceae	<i>Ludwigia octovalvis</i> (Jacq.) P. H. Raven	Mamafu'ai II	herb
Orchidaceae	<i>Corymborkis veratrifolia</i> (Reinw.) Blume	Laulau	herb/epiphyte
Orchidaceae	<i>Spathoglottis plicata</i> Blume	Laulau Ngwane	Epiphyte
Palmae	<i>Areca catechu</i> L.	Angiro/Kikiru Fasia/Malua	Plantation
Palmae	<i>Areca macrocalyx</i> Zipp. ex Blume	Kikiro Kwasi	Plantation
Piperaceae	<i>Piper sclerophloeum</i> C. DC.	Odofoe/Tuku	climber
Piperaceae	<i>Piper wichmannii</i> C. DC.	Kwakwako	shrub/climber
Pittosporaceae	<i>Pittosporum ferrugineum</i> W. T. Aiton	Ai Ofa	tree
Poaceae	<i>Cenotheca lappacea</i> Desv.	Falisi Au	Grass/herb/ creeper
Poaceae	<i>Paspalum conjugatum</i> P. J Bergius	Karasi	Grass
Polypodiaceae	<i>Lecanopteris sinuosa</i> (Wall. ex Hook.) Copel.	Angaoangao Lolo	fern/epiphyte
Polypodiaceae	<i>Pyrosia acrostichoides</i> (G. Forst.) Ching	—	fern
Polypodiaceae	<i>Microsorium punctatum</i> (L.) Copel.	Faru'uru'u	fern
Polypodiaceae	<i>Microsorium scolopendria</i> (Burm. f.) Copel.	Bamba Kali	fern/climber
Proteaceae	<i>Finschia chloroxantha</i> Diels	Akama	tree

Family	Scientific name	Kwaraae, Vernacular name, others	Plant habit
<i>Rhamnaceae</i>	<i>Alphitonia incana</i> (Roxb.) Tejasm. & Binn. ex Kurz	Kwana Sia/Kwansia	tree
<i>Rubiaceae</i>	<i>Canthium cymigerum</i> (Valeton) B. L. Burt	Nono'o	tree
<i>Rubiaceae</i>	<i>Geophila</i> sp.	Gogolome/Kokolome	herb
<i>Rubiaceae</i>	<i>Hedyotis lapeyrousii</i> DC.	Gwagwasu	herb/shrub
<i>Rubiaceae</i>	<i>Hydnophytum longistylum</i> Becc.	Ridofau	Epiphyte
<i>Rubiaceae</i>	<i>Hydnophytum</i> sp.	Rido	Epiphyte
<i>Rubiaceae</i>	<i>Morinda citrifolia</i> L.	Dilo/Kikiri/Noni	tree
<i>Rubiaceae</i>	<i>Timonius timon</i> (Spreng.) Merr.	Kato/Sakosia	tree
<i>Rutaceae</i>	<i>Melicope grandifolia</i> B. L. Burt	Aingwafila	tree
<i>Rutaceae</i>	<i>Tetradium anisodora</i> K. Schum. & Lauterb.	Chachanbo/Rii/Riki	small height tree
<i>Rutaceae</i>	<i>Tetradium ellerana</i> Mueli	Bala Fasima/Balanikwaru/ Furu'I	tree
<i>Rutaceae</i>	<i>Tetradium hortensis</i> J. R. Forst. & G. Forst.	Aba'i/Fo'oka/Lae'e /Ri'i	tree
<i>Rutaceae</i>	<i>Tetradium solomonensis</i> Merr. & L. M. Perry	Ba'aba'a	tree
<i>Sapotaceae</i>	<i>Planchonella keyensis</i> H. J. Lam	Ainunura/Lilibaiko	tree
<i>Simaroubaceae</i>	<i>Quassia indica</i> (Gaertn.) Nooteboom	Saeli' i	tree
<i>Sterculiaceae</i>	<i>Commersonia bartramia</i> (L.) Merr.	Dadame/Daedae	tree
<i>Sterculiaceae</i>	<i>Heritiera littoralis</i> Aiton	One One I	tree
<i>Sterculiaceae</i>	<i>Kleinhovia hospita</i> L.	Fae Fae	middle height tree
<i>Thelypteridaceae</i>	<i>Christella harveyi</i> (Mett.) Holttum (or <i>Christella harveyi</i> Holttum subsp. <i>connivens</i> Holttum)	Lago Lago Bala	fern
<i>Ulmaceae</i>	<i>Trema orientalis</i> (L.) Blume	Bulasisi	tree
<i>Urticaceae</i>	<i>Elatostema</i> aff. <i>novae-britanniae</i> Lauterb.	Ufufu Bulu	herb
<i>Urticaceae</i>	<i>Leucosyke salomonensis</i> Unruh	Laelae	tree
<i>Urticaceae</i>	<i>Pipturus argenteus</i> (G. Forst.) Wedd.	Sungasunga	tree
<i>Zingiberaceae</i>	<i>Alpinia</i> aff. <i>nutans</i> Rosc.	Iu	herb
<i>Zingiberaceae</i>	<i>Alpinia novae-pommeraniae</i> K. Schum.	Kakara Tolo/Mafusu Tolo	herb
<i>Zingiberaceae</i>	<i>Alpinia oceanica</i> Burkill	Ange	small shrub
<i>Zingiberaceae</i>	<i>Curcuma domestica</i> Valeton	—	herb
<i>Zingiberaceae</i>	<i>Guillainia purpurata</i> Vieill.	Folota I/Folota II	herb
<i>Zingiberaceae</i>	<i>Zingiber officinale</i> Roscoe	Fiu Meo	herb